

令和5年度第3回

幸手市総合教育会議議事録

招 集 期 日	令和6年1月16日（火）午後1時00分
開 会 場 所	幸手市役所第二庁舎 2階 第1会議室A
開 会 の 日 時	令和6年1月16日（火）午後1時00分
閉 会 の 日 時	令和6年1月16日（火）午後2時05分

出席 状 況	職 名	氏 名	摘 要	職 名	氏 名	摘 要
	市 長	木村 純夫	出席	教育委員	高島 勝也	出席
	教 育 長	山西 実	出席	教育委員	藤沼 寛次	出席
	職務代理者	会田 研司	出席	教育委員	古沢 万友実	出席
	教育委員	岩崎 万紀子	出席			

傍聴人：0人

書記：関口 智章・河口 奈緒

議 事 参 与 者	職 名	氏 名	職 名	氏 名
	総合政策部長	落合和典		
	教 育 部 長	小林秀樹		
	政 策 課 長	中野仁美		
	総 務 課 長	服部道春		
	学校教育課長	堀越成夫		
	社会教育課長	仙田茂雄		
	政策課主席主幹	大竹孝典		

議 事	顛 末
<p><b>開 会</b> 午前9時00分</p> <p><b>あいさつ</b></p> <p><b>日程第1</b> <b>協議調整事項</b> <b>及び報告事項</b> <b>協議調整事項第3号</b> 第3次幸手市教育大綱 の策定について</p>	<p>教育部長 開会を宣する。</p> <p>市長 あいさつする。</p> <p>教育部長 はじめに、協議調整事項第3号「第3次幸手市教育大綱の策定について」、事務局から説明する。</p> <p>総務課長 第3次幸手市教育大綱【素案】の内容を資料に基づき説明する。 《協議》</p> <p>藤沼委員 まず、詰め込みすぎると見るところがぼやけてしまうので、簡素化されたことはいいと思う。その上で3点ある。</p> <p>1点目はロードマップについて、まず基本的な考え方は、第2次幸手市教育大綱を基にした74施策の継承と考える。そこに、教育事業、社会事業のそれぞれ大項目5つに特命プロジェクト、新規アイテムを織り込み、国の新学習指導要領を網羅されたものとする。</p> <p>2点目は組織について。現在推進中の学力向上、体力向上研究の成果が出てくる時期と考える。組織力のたまものと感じる。しかし、教師の高齢化対策、教育指導の範囲拡大、そこから見えてくる益々の過重労働の現実。クラブ活動の地域移行なども早めて、教師の負荷を低減すること。そのため、この先5年間の要員計画は重要となる。</p> <p>3点目は予算について。教育費は、概算で一般会計予算の約10%強で推移しているが、GIGAスクール用タブレット端末の更新や新たな項目への対応など、特命プロジェクト予算の確保が必須である。</p> <p>最後に、第3次幸手市教育大綱は、第6次幸手市総合振興計画基本構想・後期基本計画との関連性について、説明できることが求められる。</p> <p>岩崎委員</p>

3点ある。

1点目は新項目の多様性について。時代の転換期にあつて、中学校の制服が対応されるなどしている。大変だが進めてほしい。

2点目は義務教育学校の実現について。子どもたちのためにできるだけ早く進めてほしいが、地域住民と議会の理解を十分に得るよう努めてほしい。義務教育学校とは何かといったことなど、情報を十分に出すよう広報活動を進めてほしい。

3点目は防災教育について。今年早々に災害が発生したこともあり、子どもから高齢者まで、広く一般市民に対して防災教育を進めてほしい。

総務課長

令和6年2月25日の午前に東公民館で、午後には南公民館で説明会を開催する予定なので、義務教育学校とは何かということなど、地域の理解を得られるよう説明していく。また、再編該当校の保護者を対象とした説明会も予定している。

教育長

「何々教育」というものは200から300ある。防災教育については「時代の変化に対応する能力を育む教育」に含むと考えてよい。

高島委員

評価が数字にとられると内容が歪む。学校教育の内容の充実には、教員の指導力をどう高めていくかということが一番重要。学力に関しても、どのくらい伸びたかを見てあげると、その子は少しずつ自信を持って上がってくる。

それから非認知能力について。幸手市でもやっているが、数字に表れない部分を見ていく。そのためには教員の資質向上が必要。教育のソフト面で、本当に子どもたちが学びたいと思うような授業ができているか。例えば英語が苦手だけど、先生の英語の授業が楽しいから続けられるというようにしないと、非認知能力というのは高められない。そういう意味でも、教員の授業の力を高めていくことが、結果的には学力を伸ばすことに繋がる。残念ながら中学校では不足している部分があると感じる。

これには、校長がリーダーシップを発揮して教員一人一人の指導力を高めること。今は学校経営も進んでいて、

上からのトップダウンではなく、先生方の中で培っていく場面を作ることも重要で、ボトムアップもできるようなリーダーシップを発揮させることが必要と言われている。

この教育大綱の中身をどうやって高めていくかという意味での評価をしっかりとやっていく必要があると感じる。

古沢委員

2点ある。

まず社会教育の充実の5項目。文化的活動に市のバックアップがあるということで、その活動の士気が上がってくると思う。市民の貢献度も少しずつ上がってくると思う。充実した文化芸術活動に子どもたちが触れる機会が増えるといいと考えている。

次に、学校教育環境の整備と青少年の健全な育成について。子どもたちの学ぶ意欲を高めるところで、保育の現場では、心を認められるとやる気に繋がり、態度・行動に表れると言われている。このプロセスは大人も同じだと感じている。子どもたちのやる気を引き出すには、前提として大人自身が自分の心を大切にしているということが大変重要である。

現在、体罰などの実態調査が行われている。体罰は絶対にあってはいけないことだが、文科省の調査では体罰で処分を受けた教員もいるし、精神疾患で休職している教員もいる。現代社会の変化に伴って、大人も子どもも心の学びが大切になってくると感じた。今後5年間で変わってくる時代の流れを乗り越えていく力強さを身につけてほしい。

岩崎委員

先ほどの説明会の話の中で、跡地の使い方について質問が出ると思う。心の学びであったり、子どもたちと高齢者が触れ合ったりできるような、交流を持てるような施設にしてほしいと考えているが、市としては跡地をどのように考えているのか。

総合政策部長

学校が、地域の拠点という役割も担っている点も踏まえて今後、跡地利用を検討していきたいが、現時点では方針はない。

藤沼委員

幼児教育や学校教育では、特に小さいうちは母親の影響が大きいと言われている。その後、小学2年生から3年生あたりになると学校内でのコミュニケーションが活発になると、感情のコントロールができるようになる。これが心の学びに繋がっている。心の学びが不足していると、大人になっても不足部分が出てくる。それが周りからどう見えるかということ。人生の長い年月をかけて培う、そのスタートダッシュは母親とのコミュニケーションとされている。

会田職務代理者

第2次と比較すると、第3次はかなり簡略化されたと感じる。簡略化の流れもあるのだろうが、ここまで簡略化していいものか。教育大綱だけを配布するようなことはあるのか。

総務課長

議会には配布し、ホームページに掲載するが、例えば全戸配布のようなことはない。

会田職務代理者

簡略化で分かりやすくなることもあるが、これだけを配るようなことがあるとすれば、市長のメッセージもないし物足りなさを感じる。

岩崎委員

これでもいいとは思いますが、市民が見たときに同じ内容だと受け取られると思う。具体的に、中学校で制服が変わるとか義務教育学校を作って子どもたちにより良い教育を届けたいという思いを市長の強いメッセージで発信してほしい。

藤沼委員

教育大綱は、ディスカッションのための資料だと捉えている。ディスカッション用ということであれば、問題ないかと思う。

高島委員

誰が読むかという、多くの人の目に触れるものではないと思うので、大綱のメインストリームを示すということでもいいと考える。例えばホームページ上で大綱のある部分をクリックするとより具体的なものが出てくると分かりやすい。また、市長のメッセージはあった方が良くと思う。

会田職務代理者

高島委員の話のように、ホームページで教育大綱の中のリンクをクリックするとより詳しい内容に飛ぶという動きはできるのか。

総務課長

ホームページ上で、教育大綱から総合振興計画の関連ページにリンクを貼るようにしたい。また、毎年度策定している教育行政重点施策のページへの連携も検討したい。

藤沼委員

文部科学省の生徒指導提要も電子化されている。リンクをクリックすると色々なところに飛んでくれる。そういうことができれば非常に便利と思う。

高島委員

例えばホームページに掲載して終わりではない。足で稼ぐ部分もある。特に青少年や社会教育の分野は、人脈をもって広める場面を作っていないと伝わっていかない。

教育部長

これまでの意見を踏まえると、素案の内容については御了承いただけたかと思う。市長のメッセージをどうするかということもあるが、最終的な体裁については事務局に任せていただき、完成形を後日お示ししたい。

については、このまま御了承いただければ第4回の総合教育会議は開催せずに完結したいが、いかがか。

《承認》全員異議なく承認。

教育部長

市長から一言お願いします。

市長

いいものを作るのは当然として、中身をいかに深掘していくかが重要。様々な課題があるので、真摯に取り組んでいく。

また、足で稼ぐということについて。懇親会を含め色々な行事があり、最初から最後まで2時間から3時間ほど参加させてもらうが、現場に行き一緒にやる必要がある。教育大綱も作って満足ではなく、しっかりやっていきたい。

学校再編について、教育長に相談しながら少しでも前向きに、大事にやっていきたい。

教育全体について思うが、子どもたちが色々な点で弱

**日程第 2  
その他**

**閉 会**  
午後 2 時 05 分

くなっていると感じ、歯がゆい思いがある。子どもたちが世界に通用するような、どこから責められても耐えられる精神と体を作る教育をしてほしい。教員の指導も重要だし、情熱も必要。子どもたちは間違いなくいいものを持っているのだから、それを見出し育てるのが教育だと思っている。

私も頑張るし、委員の皆さんにも協力をお願いする。

第 4 回総合教育会議の開催について調整を図った結果、開催はしないものとする。

教育部長

閉会を宣す。

他特に重要 と認める事項	なし
	<p>上記会議の顛末を記載し相違ないことを証するため、ここに署名する。</p> <p>令和6年3月12日</p> <p>教育委員 岩崎 万紀子</p> <p>教育委員 高島 勝也</p>